



## 『 お薬手帳の役割と活用法について 』

---

お薬手帳は使用している薬の名前、飲む量や飲み方等を記録するための手帳で、活用することで様々なメリットがあります。

診察時や薬をもらう時に医師や薬剤師にお薬手帳を見せることで、治療内容の把握や薬の重複や飲み合わせの確認も行えます。入院中に使用した薬の情報等も記載することで、治療の記録として活用できます。薬の中には、検査や手術をするにあたってお休みが必要な時もあるため、それらを確認することもできます。またアレルギーや副作用の出た経験を記載しておくことで確認できますので、日頃から携帯することが大切です。複数の医療機関を受診されている方は一冊にまとめ、情報を一括で管理することが重要です。

その他、出先での急病時や災害時に避難所等で薬を出してもらう際の情報源となります。また事故などで意識を失った際にも、周りの人が飲んでいる薬から疾患の予想ができ、適切な治療を受けることに繋がります。日頃からお薬手帳を携帯し、健康のための記録として活用して下さい。



鹿児島厚生連病院  
薬剤師  
大窪 悠介